

2017年度第8回 町田市子ども・子育て会議

議事要旨

【開催概要】

日 時：2018年3月27日（火）
会 場：市庁舎 市民協働おうえんルーム

【議事次第】

- 1 開会
- 2 事務連絡
- 3 議 題
 - ・町田市子ども発達支援計画策定について
- 4 報 告
 - (1) 町田市子ども・子育て会議来年度の予定について（資料1）
 - (2) 町田市自然休暇村浴室改修工事に伴う休館について（資料2）
 - (3) 2018年度学童保育クラブ入所状況について（資料3）
 - (4) 町田市青少年問題協議会条例の廃止について
- 5 その他
- 6 閉会

【配布資料】

- 町田市子ども発達支援計画について（計画書・概要版）
- 資料1 町田市子ども・子育て会議来年度の予定について
- 資料2 町田市自然休暇村浴室改修工事に伴う休館について
- 資料3 2018年度学童保育クラブ入会承認数について

2017年度 第8回町田市子ども・子育て会議 委員出席者

子ども・子育て会議 委員

| 氏名 | 所属 | 出欠 |
|--------|---------------------|----|
| ◎金子 和正 | 東京家政学院大学 | 出 |
| ○吉永 真理 | 昭和薬科大学 | 出 |
| 齋藤 祐善 | 町田市私立幼稚園協会 | 出 |
| 土橋 一智 | 町田市法人立保育園協会 | 出 |
| 藤田 義江 | 町田市社会福祉協議会 | 出 |
| 大野 浩子 | NPO 法人子ども広場あそべこどもたち | 出 |
| 大泉 永 | 町田市公立小学校校長会 | 出 |
| 熊坂 有美 | 町田市民生委員児童委員協議会 | 出 |
| 岩間 綾子 | 町田市中学校 PTA 連合会 | 欠 |
| 豊川 達記 | 町田市医師会 | 出 |
| 澤井 宏行 | 町田商工会議所 | 出 |
| 石井 由利子 | 市民 | 出 |
| 清水 亜希子 | 市民 | 出 |
| 白井 信昭 | 市民 | 出 |

◎会長 ○副会長

・備考： 傍聴者（1）

「町田市子ども発達支援計画」臨時委員

| 氏名 | 所属 | 出欠 |
|-------|-------------------------|----|
| 小林 保子 | 鎌倉女子大学 | 出 |
| 森山 知也 | 東京都立町田の丘学園 | 出 |
| 田部井 眞 | (社福) ボワ・すみれ福祉会 | 出 |
| 酒井 恵子 | 町田市心身障がい児・者を守る会 すみれ会 | 出 |

2017年度 第8回町田市子ども・子育て会議 事務局出席者

| 氏 名 | 所 属 |
|--------|--------------------|
| 三橋 薫 | 子ども生活部部长 |
| 田中 隆志 | 子ども生活部子ども総務課長 |
| 佐藤 智恵 | 子ども生活部児童青年課課長 |
| 鈴木 亘 | 子ども生活部子育て推進課課長 |
| 田村 裕 | 子ども生活部子ども家庭支援センター長 |
| 山之内 敦郎 | 子ども生活部すみれ教室所長 |
| 永野 修 | 子ども生活部大地沢青少年センター所長 |
| 河合 江美 | 保健所保健予防課次長兼課長 |
| 金木 圭一 | 学校教育部指導課指導室長兼課長 |

子ども総務課事務局：本吉 仁志、吉田 織子、石川 浩二

【議事内容】

■開会

子ども総務担当課長：始まる前に、遅刻・欠席の連絡についてです。まず、岩間委員から欠席の連絡が入っております。また、豊川委員から遅刻の連絡が入っております。会議は半数以上出席しておりますので、有効に成立しております。今回も会議の運営のために株式会社地域総合計画研究所が参加しております。議事録作成のために録音等させていただきますので、予めご了承くださいと思います。また、会議は1時間程度を目安に進めていきたいと思っております。ご協力の程よろしく願いいたします。傍聴の方が1名いらっしゃいます。特に異議等がなければご入室いただこうと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、傍聴の方が入室されましたので、進めさせていただきます。資料の確認をさせていただきますと思います。

■資料の確認

[資料1～3の確認]

■議題1 町田市子ども発達支援計画策定について

金子会長：事務局から説明をお願いします。

[町田市子ども発達支援計画策定の説明]

すみれ教室所長：計画書の色使いについては、経営調整会議において意見があり、色弱等の方に配慮して確認したうえで決めています。

土橋委員：1冊1000円での販売とのことだが、市内の保育園、幼稚園などには配布されるのでしょうか。

すみれ教室所長：計画書については各園1冊、概要版については各園3冊配布します。

子ども生活部長：ご購入いただかなくても、ホームページでダウンロードできますので、ご覧ください。また、答申には入っていませんでしたが、計画書の3ページに経営会議等で話し合い、障がい福祉事業計画を現在策定中であり、両方の計画に、相互に連携している旨を付け加えています。

齋藤委員：最後のページに、発行がすみれ教室となっていて、来年度は組織改編があるが、

今後どこが引き継ぐか決まっていることがあれば教えてください。

すみれ教室所長：すみれ教室の改編後は、子ども発達支援課が引き継ぎます。

清水委員：冊子の単価が非常に高く、ダウンロードといっても手間がかかるので、もっと

安く抑えれば、必要な人に届くと思うので、配慮していただけたらと思います。

すみれ教室所長：金額は印刷経費と人件費も含む単価となっております。概要版については今後の参考にさせていただきます。

大野委員：すみれ教室から組織の名前が変わりますが、すみれ会館の名前も変わるのでしょうか。

子ども生活部長：建物の名前は変わりません。

森山委員：障がい福祉事業計画と連携しているとの説明がありました。子どもも使える障がいサービスについては、ここではあまり議論できませんでしたので、今後、障がいサービスに関する報告はこの会議でもしてほしいと思います。

障がい福祉課統括係長：障がい福祉事業計画の検討には、すみれ教室の職員が参加して、連携できるよう検討してきました。これまでは説明する機会はありませんでしたが、今後、障がい福祉サービスについて子ども・子育て会議で報告するようにします。

田部井委員：広く市民にアピールする手法として、広報の掲載は決まっていますか。

すみれ教室所長：すみれ教室が子ども発達センターという名前になり、そこで対応するという内容で広報に掲載します。

子ども生活部長：4月1日号の1面と2面に掲載します。障がいのある子どもなどのイラストを入れ、教育センター、保健所、子ども発達支援課が行っている業務の紹介と、障がい福祉課の事業の一部の受付を開始するという内容を掲載します。

■報告

金子会長：報告はまとめて行い、その後、質問を受け付けます。資料の説明をお願いいたします。

[報告事項(1)～(4)の報告]

白井委員：「新・町田市子どもマスタープラン」策定には、市民の幅広い参加が得られるようお願いいたします。

資料3の学童クラブ入所については、全体として増えているのか減っているのか教え

てください。また、昨年度は育成料・保育料の改訂を議論しましたが、その後の進捗を教えてください。

児童青少年課長：2018年度の確定値ではございませんので単純な比較はできませんが、2017年度の入会数は3,752名、現時点は3,657名となっていて数は減っています。入会率については、2017年度は33.9%で、現時点は35.5%であるので入会率は減っていません。

育成料は、この一年、周知に努めてきました。申込用紙に育成料の減免の有無についてチェックを記入してもらうことになっており、チェック漏れは職員から連絡をして確認しています。

澤井委員：2点あります。1点目は、子ども発達支援計画の内容についてです。スポーツ体験会は重要ではありますが、企業側は何をしたらいいかわからないのが現状です。今年はスポーツ振興課と東京ガスの尽力を得て、ボッチャの体験会と講演会を行いました。みなさん、体験するとおもしろいという反応があり、オリンピックだけでなく、パラリンピックも重要であることが認識されてきているので、この事業は重要であると思います。

2点目としては、子ども・子育て会議来年度の予定について、計画をつくるということであれば、計画の方向性について検討されていると思いますが、少子化対策を考えるマスタープランとして考えると、自然増に対応する施策と、人口をどう増やすのかという戦略的な施策も柱にするべきだと思います。商工会議所の産業政策委員会では、お店の魅力づくりも必要だが、可処分所得が多い世帯を呼び込むことが必要と考えており、そのためには教育はとても重要な柱になると思います。学童クラブが不足していることについて、定年退職後の地域の人材を活用してはと提案したが、学童クラブは民間委託で対応され、とても残念でした。地域には有能な方が多くいるので、人材活用も含めて、教育対策を進めてほしいと思います。

白井委員：学童クラブの減免を受ける人から、育成料が高いという声はきいていますか。

児童青少年課長：私自身が直接窓口を担当はしていませんので、そのような声についてはわかりませんが、大きな混乱はなかったと聞いています。

清水委員：待機児童について、数は減少していたとしても、減ってよかったねということにはせずに、入れない方がいることを忘れないでください。

大野委員：子どもマスタープラン見直しにあたって、冒険遊び場は場所を増やすだけでな

く、運営の継続性を考えて欲しいです。中心部ではマンションの建設が進んでおり、子どもも増えているので、ぜひお願いします。

齋藤委員：青少年問題協議会のメンバーは、子ども・子育て会議とは少し違うメンバーで年2回行ってきたが、そこで行ってきた議論は子ども・子育て会議で行うのか。

子ども総務課長：調査や政策審議については、子ども・子育て会議で行います。関係機関の相互調整については、子育て支援ネットワーク連絡会や代表者会議で行います。協議会の一部委員は子ども・子育て会議にも入っていただく予定で、関係機関とは今後とも連携していきます。

齋藤委員：協議会が担っていた、児相、警察、当事者団体のつながる機能については、今後も尊重していただけると理解してよろしいでしょうか。

子ども総務課長：会議がなくなったから、つながりが切れるということはなく、子育て支援ネットワーク連絡会代表者会議は要保護児童対策地域協議会の位置づけでもあり、情報共有を進めていきます。

齋藤委員：子ども・子育て会議で議論するのはどのような内容になりますか。

子ども総務課長：これまで、青少年問題協議会では子ども憲章の制定や子育て・子育て支援計画について議論してきました。今後は、青少年健全育成都市宣言の記念事業等をお願いすること等は出るかもしれませんが、現状から特段変わるものはございません。

吉永副会長：学童クラブ入所について、減った要因は何でしょうか。

児童青少年課長：児童数が減っています。退所する人の理由は、さまざまありますが、まちともを利用するという理由もきいています。いろいろな要因が重なった結果だと考えます。

■その他

金子会長：それでは進行を事務局に戻します。

子ども総務担当課長：委員のみなさまには、第2期子ども・子育て会議の委員として、2年間、ご協力をいただきありがとうございました。最後に委員を代表して金子会長からひとことお願いしてもよろしいでしょうか。

金子会長：年数回ほどの会議で議論が尽くせたのだろうかという思いもありますが、行政としての進め方もあったかと思えます。枠にはまってしまうのではないかという心配や、育成料については自分の中でも疑問があったこともありました。育成料の値上げ

については、クレームはなかったと言いますが、個人個人では意見があるかもしれません。私たち委員の役割は、常に、それぞれの家庭の立場に立って、私たちが方向性を見出していかなくてはいけない、弱い方たちの身になって考えなくてはいけないと思います。今年度は、子ども発達支援計画を市長に答申しましたが、インクルージョンは以前から言われていましたが、いよいよ多くの人達が考える時代になったと感じました。イギリスでは15%の子の支援が必要であり、日本でも10%を超えている地域もありますし、実際の現場での指摘も聞きます。計画内容については、今後、進捗をみながら、変えなくてはいけないところもあるかもしれません。委員のみなさんは、実際の計画策定に関わった方たちなので、今後、発達支援については、より関心を持って見続けなくてはいけないと思います。どうぞ、ここに関わった委員のみなさまにおかれましては、今後も町田市の子どもの発展にご協力いただければと思います。

子ども総務担当課長：金子会長、ありがとうございました。そして委員のみなさま、今年度参加いただきました臨時委員のみなさま、本当にありがとうございました。

■閉会

以上